

投票テーマ

3人目『青谷弥生人』の名前

鳥取市にある青谷上寺地遺跡は、全国でも有名な弥生時代の遺跡です。なぜ有名なのか、何がすごいのか、それはズバリ、「多種多様で貴重な遺物（出土品）が奇跡的に見つかった」ことです。

青谷上寺地遺跡とは・・・

「上寺地」は鳥取市青谷町の地域を示す地名です。当時この場所は、入江として日本海に面しており、様々な出土品からも地形を活かした漁業や交易が盛んだったと考えられています。

遺跡の出土品は、中国大陸・朝鮮半島由来の斧や鏡、ガラスや石で作られた玉などの装飾品のほか、木でできた精巧な器や琴、船の破片、動物の骨を加工した漁具などがあります。水分の多い泥の中で、約1800年もの長い年月を、まるでタイムカプセルのような保存状態で守られていました。

そして、なんと世界的にも例が少ない人の脳も出土しました。人骨の調査（DNA分析）により、これまで3人の青谷弥生人の顔が復元されています。



← 当時の地形のイメージ図

青谷弥生人とは・・・

青谷上寺地遺跡から出土した人骨をもとに復元された顔（復顔像といいます）を青谷弥生人と呼んでいます。復顔像の1人目は「青谷上寺朗」、2人目は「青谷来渡」という名前です。

今年春に公開された、3人目となる女性にはまだ名前がありません。早く名前を決めて欲しいという声が多く寄せられ、名前募集をした結果、1802件もの応募があり、審査により名前の候補を4つに絞りました。

みなさんは名前に込められた意味をしっかりと読み、比べて、自分が最も良いと思った名前を1つ選んでください。この青谷弥生人の名前を是非、みんなの投票で決定しましょう！

復元された3人目青谷弥生人



<調査（DNA分析）からわかった特徴>

- ・ 黒い瞳、二重まぶた、目元や眉は青谷来渡に似ている、面長な顔
- ・ 肌はやや明るい
- ・ 年は30才前後
- ・ 母方が渡来系（中国大陸や朝鮮半島から来た人たち）
- ・ お酒に強い

これまでに命名された青谷弥生人

青谷 上寺朗 さん



弥生人の男性。当時の年は30～40才くらい。出土した頭の骨の中に脳が残っていたり、現代人と変わらない顔でソックリさんを探したりと、現代でも話題に事欠かない人物です。

青谷 来渡 くん



弥生人の子供で、男性的な特徴がまだなく、人骨が出土した当時は女性と間違われていました。DNA分析で男の子ということや先祖が大陸から来た（渡来人）ということがわかりました。